◆平成２５年度 柏崎市刈羽郡算数部　活動報告◆

部長　神林　均

□□　1　はじめに　□□□□

柏崎市刈羽郡算数部は，柏崎市及び刈羽村にある小学校及び特別支援学校に勤務・所属する教職員で組織されている。今年度，算数部の部員数は３０名である。

柏崎市では小中一貫教育を推進していることから，中学校や中等教育学校と一緒の研修機会があり，互いに情報交換しながら研究を進めている。

□□　2　活動方針　□□□□

(1) 平成２５年度の研究テーマを「数学的な思考力・表現力を育む算数的・数学的活動の在り方」とし，これに基づいて授業公開及び協議会を行い，研修を深める。

(2) 柏崎市立教育センターと連携して研究を推進する。

(3) 上記の研究テーマに沿って各自の取組（学校の取組）をまとめ，集録を作成する。

□□　3　活動報告　□□□□

(1) 柏崎市立教育センター研修講座への参加（参加者数は，部員以外も含む）

① 「算数数学示範授業」　指導者：筑波大学附属小学校　山本良和　様
　１１月２６日（火）　会場：柏崎市立半田小学校　参加者数：６２名

② 「算数・数学デジタル教科書の使い方」　指導者：柏崎市立教育センター　山田　智　様
　６月１９日（水）　会場：柏崎市立教育センター　参加者数：１４名

(2) 授業研究会

① 　６月２７日（木）　柏崎市立高柳小学校にて

・公開授業　3年「わり算」　・参加者数：２２名

・「遠足の飴を配る」という生活場面を取り上げ，児童の意欲付けを図った。授業では，「なかよく分ける」＝「同じ数ずつ分ける」というわり算の意味を意識した教師の働きかけが有効に働いた。協議会では，「日頃の授業が充実しているから様々な解決方法が子どもから出てきた。」「ペア学習で，考えを伝え合う姿が見られた。」等の意見が出された。

② １１月２０日（水）　柏崎市立東中学校にて　（新潟県中学校教育研究会との共催）

・公開授業　2年2組「三角形・四角形」　・参加者数：８８名

・柏崎市内外から，多くの参会者を得，小中一貫教育の観点から小学校会員も多く参加した。授業は，三角形に接した四角形が正方形であるという条件の付いた課題を取り上げた。証明に必要な直線から課題解決の手がかりを得，意欲的に取り組む子どもが多く見られた。協議会は１２の小グループに分かれ，小中の教員が授業をもとに真剣な話し合いを行った。

③ 　1月３０日（木）　柏崎市立第一中学校にて（実施予定）

・中高連携授業研究会であるが，連携・接続の意味から小学校会員の参加もある。

(3) 研究集録作成

今後，年度末までに各自（各校）から提出された「取組のまとめ」を事務局で製本し，各校に配付する予定である。

□□　4　おわりに（成果と課題）　□□□□

(1) 授業研究会に小中（高）学校の教員が参加することによって，授業をとおして，算数的・数学的活動の在り方について協議が行われ，互いの参考になった。

(2) 示範授業は学ぶべき点が多く，参会者の今後の授業改善につながるものとなった。

(3) 授業研究会において，ブロック幹事のサポートを充実させていく必要がある。